

2012年度岩手大学環境目的、目標及び改善型実施計画

IE1-433-1
最終改定日 2012.6.21

2012年度						
環境方針等	環境目的	環境目標	実施計画 (具体的に行われるべき行動)	行動の 責任部署	監視測定 責任部署	難易度
I. キャンパス環境の改善	PDCAサイクルによる環境マネジメントを実施することにより、省エネ・省資源の取り組みを強化し、エコキャンパスづくりを推進する。	ISO14001の定期審査を受審する。	1. 定期検査を受審する(10月)。	全ユニット	EMS推進室	A
		PDCAサイクルによる環境マネジメントシステムを運用する。	2. 2011定期審査の指摘(改善の機会、グッドポイント)を踏まえ、PDCAサイクルによる環境マネジメントシステムを運用する。	全ユニット	EMS推進室	A
			3. サステイナブルキャンパス構築のための評価指標を検討する。	環境影響評価WG	EMS推進室	A
		緑豊かなキャンパスづくりに向け、構内環境整備を全学的に取り組む。	4. 上田構内等における放置自転車の実態調査を行うと共に、回収のうえ、リサイクルショップへの引渡し(無料)を実施する。	学務部 財務管理課	EMS推進室	A
		学内全面禁煙を維持し推進する。	5. 学生と教職員による清掃パトロールを行う。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
II エネルギーの使用 (電気・A重油 ガソリン・都市ガス 灯油)	省エネ・省資源の取り組みを推進する。	電力及び灯油の使用量を2005年度比7%以上削減する。都市ガス及びA重油の使用量を2011年度比1%以上削減する。	1. 階段利用の促進を行い、エレベータの運転を抑制する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			2. 学内サーバの集約化の可能性を検討する。	学部・研究科ユニット	省エネ省資源WG	A
			3. 電気ストープ実態調査を実施し、学内の電気ストープの廃棄を促進する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			4. 時間外勤務の場合の照明は必要範囲に限定する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			5. 定時退庁日の18時以降の消灯及び昼休み消灯(窓口業務を除く。)を実施する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			6. 空調機の運転時間及び室温設定の最適化を図る(原則として時間外の運転禁止)。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
	CO2排出量を2015年度には2005年度比で10%削減する。	CO2排出量の「見える化」モニタを活用することによって排出量の削減に努める。	7. 省エネ・省資源パトロール班による講義室の消灯及び暖房OFFの確認を実施する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			8. ノーマイカー通勤デーを継続するとともに、自動車通勤者の状況分析を行う。	環境にやさしい事業所認定WG	環境にやさしい事業所認定WG	A
			9. 見える化モニタの効果的な運用を検討する。	EMS推進室事務局・EMS学生会 学務部、農学部、工学部	EMS推進室	B
			10. ユニット毎のCO2排出量削減について電力使用を基本に管理運用する。	CO2排出量取引検討WG	EMS推進室	A
			以下、エネルギー削減を目標とする実施計画に同じ。			
演習林のCO2吸収源機能の活用を推進する。	オフセット・クレジット(J-VÉR)制度の認証取得に向けて検討を継続する。	11. J-VÉR制度対象となる施業地を特定したことを踏まえ、制度導入を想定した試算を行う。	FSC	CO2排出量取引検討WG	B	
III. 用紙類の使用	用紙類の使用量を削減する。	用紙類使用量を前年度比1%削減する。	1. 会議等におけるペーパーレス化の状況と課題を明らかにする。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
IV. 化学物質等の使用 特定化学物質 毒物劇物 有機溶剤 農薬管理 放射性物質 一般薬品 高圧ガス	化学物質等の適正な管理を行う。	化学物質等の全学一元管理を推進する。	1. 可燃性危険物である高圧ガスボンベを加えた危険物の全学一元管理を実現させる。	安全衛生管理室	EMS推進室	B
		実験廃液の定期的な回収と処分を行う。	2. 実験室等での廃液の分類・回収は、マニュアルを掲示するなどして確実に実施する。	事務局以外のユニット	安全衛生管理室	A
		全学共通の安全マニュアルの構築を図る。	3. MSDSを利用した取り扱いマニュアルを作成する	安全衛生管理室	EMS推進室	B
V. 廃棄物等の排出 特別管理産業廃棄物 廃試薬・廃液 産業廃棄物 建設廃材	廃棄物の発生を抑制する。	廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の資源化を図る。	1. 廃棄物保管庫及び保管庫内の分別を確実にするための方策を講じる。	全ユニット	廃棄物削減WG	A
		マニフェストの適正な管理を図る	2. 特別管理産業廃棄物のマニフェストについて、改善を行い運用を進める	安全衛生管理室	EMS推進室	A

VI. 環境教育 環境人材教育	大学における環境教育・環境人材育成を推進する。	環境教育・研修の推進を図り、全学で「持続可能な共生社会に寄与する環境人材育成」を進める。	1. 環境教基礎研修・内部監査員養成研修として、 ・岩手大学ISO14001内部監査員養成研修（2012年4月4・5日）を実施する。 ・「環境マネジメントと岩手大学」「環境マネジメント実践学」を継続開講する。 ・2012年度EMS公開セミナーを開催する。	環境教育WG	EMS推進室	A
			2. 要件を満たした申請者に「環境管理実務士」を認定する。	環境管理実務士小委員会	環境教育WG	A
			3. 学生実験等における緊急事態を防止するための教育を行う。	学部・研究科ユニット、地域連携推進センター	環境教育WG	A
			4. 「テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2012」を学生に周知する。	全ユニット	学務課	A
			5. 専門科目「環境マネジメント実践演習」を継続開講する。	人文社会科学部	環境人材育成プロジェクト	A
		附属幼稚園では、花や野菜の栽培等を通して、植物が育つ環境についての関心をもたせる活動を行う。	6. 花の栽培や野菜づくりでの水やりや草取りなどの世話を通して、それらの生長の過程に感動したり、収穫の喜びを味わったりする中で、植物が育つ環境への興味・関心を高めていけるようにする。	附属幼稚園	当該ユニット責任者	A
		附属小学校では、「総合的な学習の時間」等を活用し、自然観察や地球温暖化の学習など環境について学ぶ場を創る。また、委員会やたてわり活動を通して、環境に配慮した活動を行う。	7. 総合的な学習の時間に3年「中津川探検」、4年「守ろう！わたしたちのまち盛岡」等の単元を通して、中津川の自然の観察や水質調査、街路樹調べを行ったり、環境整備に関わっている人に話を聞いたりすることで、環境問題について考えたり発信したりする学習を行う。	附属小学校	当該ユニット責任者	A
			8. 環境委員会の活動として、学校周辺や加賀野地下道のゴミ拾い、冬季の除雪作業などを行い、地域の環境を整えとともに、全校に活動を広げるようにする。	附属小学校	当該ユニット責任者	A
			9. たてわりピクニックの際に、活動場所のゴミ拾いを全校で行い、学校生活や日常生活における環境に対する意識を高める。	附属小学校	当該ユニット責任者	A
			10. 気象システムを活用し、理科の学習を通して環境について学習し、環境に対する関心を高めるようにする。	附属小学校	当該ユニット責任者	A
		附属中学校では、環境を守りはくむ心と感受性を育て、環境美化活動、エネルギーの節約等に配慮した生活・行動を実践できるよう指導する。	11. 校内外の環境美化活動、環境保護活動として、次の取組を行う。 ・文化活動としての清掃活動 ・生徒会活動による校地周辺の清掃活動 ・日番・週番活動による学校環境向上の取組 ・ボランティア委員会による、附属幼稚園等の清掃活動 ・学校行事としてのグラウンド整備	附属中学校	当該ユニット責任者	A
		附属特別支援学校では、作業学習・生活単元学習で使用する原材料のリサイクル化を推し進めるとともに委員会活動を通して地域とタイアップした環境活動を実施する。	12. ・「手漉き和紙」は小学部及び中学部生活単元学習で取り組む。 ・「石けん」は中学部作業学習で取り組む。 ・「工芸品」は中学部及び高等部作業学習で取り組む。 ・「腐葉土」作りは中学部作業学習で取り組む。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者	A
			13. ・「リサイクル活動の紹介」はすべての学部の生活単元学習で取り組む。 ・「周辺の環境整備」は中学部生活単元学習で取り組む。 ・「資源回収の呼びかけと実施」は中学部及び高等部特別活動で取り組む。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者	A
		学生の自主的な環境保全活動を推進する。	14. ゴミの分別状況調査及び省エネ状況調査を学内巡回により 定期的に行う。	EMS学生委員会	EMS推進室	A
			15. 一般廃棄物の分別方法の周知活動を実施する。	EMS学生委員会	EMS推進室	A
			16. 主に学内の学生を対象に、勉強会を開催する。	EMS学生委員会	EMS推進室	A
		EMS学生委員会が中心となり岩手大学環境ネットワークの充実を図る。	17. 環境関連の学生サークル等へ岩手大学環境ネットワークへの参加を呼びかける。	EMS学生委員会	EMS推進室	A
			18. 岩手大学環境ネットワーク内の交流イベントを行う。	EMS学生委員会	EMS推進室	A
		環境関連の学生サークル等の活動を支援する。	19. キャンパスクリーンサポーターを募集し、職員と一緒に清掃活動の推進を図る。	学務課	EMS推進室	A
			20. サークル等の取り組みに対し、適切な指導・助言及び支援を行う。	学生支援課 EMS学生委員会 生協学生委員会	学生支援課 EMS推進室 岩手大学生協	A

VII. 環境関連研究	大学・大学院における環境関連研究を推進する。	各学部・研究科の特色を活かした環境関連研究を推進する。	1. 環境観測のための可視近赤外面分光装置の開発研究を行う。	人文社会科学部	EMS推進室	A
			2. 「学校気象台」と地域連携ネットワークの改善を進める。発足した「学校気象台」研究会を通して、学部・研究科での教育・研究と地域の学校が協働して、授業改善の研究や研修を継続して行う。	教育学部	EMS推進室	A
			3. 2011年度に設置したソフトパス工学総合研究センターの各部門において環境共生研究を推進する。	工学部	EMS推進室	A
			4. 大規模不法投棄現場周辺水源地の水質調査と影響評価	農学部	EMS推進室	A
VIII. 構内事業者の取組	構内事業者の環境配慮活動の推進を図る。	岩手大学生協同組合において環境に配慮した取組を実施する。	1. 食育と共にキャラクターによる宣伝を年10回行う。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
			2. グリーン購入法適合品の中でも優れたものの宣伝、販売を強化する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
			3. 簡単に行える冷凍ケースは毎月、エアコンについては8回を目標に清掃を行う。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
			4. 生ゴミ排出量削減のためミミズによる残さ処理実験量を拡大させ、毎月のリサイクル量を測定する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
			5. 新入生向け宣伝物へ取組と協力の案内を行う。教職員のレジ袋利用実態を明らかにする。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
			6. 引っ越しを申込みする卒業生向けにリサイクルショップの案内を行う。新入生向けにリサイクル商品販売の場を用意する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	A
	放送大学岩手学習センターにおいて環境に配慮した取組を実施する。	1. 放送大学学生に環境保全活動の啓発を推進する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	A	
		2. 廃棄物の分別回収を継続実施する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	A	
		3. グリーン購入法適合商品の積極的購入を行う。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	A	
IX. 地域社会に対する取組	環境関連の取組を地域社会に情報発信するとともに、地域の環境活動に協力する。	環境関連の公開講座等を実施する。	1. 各学部・研究科の特色を活かした環境関連の公開講座等を実施する。	学部・研究科ユニット	研究協力課	A
			2. 地域課題解決プログラムにおいて環境をテーマとした課題に取組む。	地域連携推進センター	研究協力課	A
			3. 中小企業等の環境報告書作成支援に取組む。	人文社会科学部	EMS推進室	A
			4. 自治体、NPO、企業等の地域環境活動に協働して取組む。	全ユニット	EMS推進室	A
			5. 「上田地域連携協議会」のもと、教職員・学生が協力し環境美化の推進に取り組む。	総務広報課	EMS推進室	A
	環境に関わる三陸復興事業を進める。	三陸沿岸地域等の復興推進のための取組を行う。	三陸復興推進機構	EMS推進室	A	
6. 関係自治体等及び協定大学等と連携を図り、水圏環境調査、農地復興、震災廃木材の活用等の研究を進める。	三陸復興推進機構	EMS推進室	A			

2012年度岩手大学の環境目的、目標及び継続型実施計画

IE1-433-2
最終改定日 2012.6.21

環境方針等	2012年度		実施計画 (具体的に行われるべき行動)	行動の 責任部署	監視測定 責任部署	難 易 度
	環境目的	環境目標				
キャンパス環境の改善	PDCAサイクルによる環境マネジメントを実施することにより、省エネ・省資源の取り組みを強化し、エコキャンパスづくりを推進する。	緑豊かなキャンパスづくりに向け、構内環境整備を全学的に取組む。	1.年間計画を定め、構内清掃、除草等の環境整備を実施する。	全ユニット	EMS推進室	A
		放置自転車を削減する。	2.学生議会と協働による駐輪指導を行い、放置自転車削減を呼び掛ける。	全ユニット	EMS推進室	A
		学内全面禁煙を維持し推進する。	3.喫煙に関する調査を行う。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
			4.学生と協働で吸い殻拾いなどの活動を行う。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
エネルギーの使用 電気・A重油 ガソリン・都市ガス 灯油	エネルギー使用量及びCO2排出量の削減を推進する。	光熱量の見える化などにより、教職員、学生、構内事業者への意識啓発を実施する。	1.大学の省エネ・省資源の取組方針を、学内事業者、関係事業者に周知する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
		ピーク電力の削減を図る。	2.クールビズ・ウォームビズを実施する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			3.夏期全学一斉休業を実施する。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			機器等の適切な運用により省エネルギー化を推進する。	4.トッピング方式による電気機器の更新を図り、節電節約を行う。	全ユニット	省エネ省資源WG
		5.パソコンやプリンター等のOA機器の効率的な運用を図る。		全ユニット	省エネ省資源WG	A
		6.退室時には事務機器の電源を落としチェックシートにより確認する。		全ユニット	省エネ省資源WG	A
		7.自動ドアは季節及び天候等を考慮し解放するなど消費電力を抑制する。		全ユニット	省エネ省資源WG	A
		CO2削減のための意識啓発を図る。	8.暖房運転期間及び運転時間の最適化を図る。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			9.構内における自動車のアイドリングストップ並びに通勤時及び公用車運転時のエコドライブを呼び掛ける。	CO2排出量取引検討WG	EMS推進室	A
		施設改修に併せて、省エネ機器や太陽光発電等の再生可能エネルギー設備を導入する。	10.部局別のCO2排出量調査を実施し算定する。	CO2排出量取引検討WG	EMS推進室	A
			11.ボイラー燃焼バーナーを都市ガス用に転換する。	施設管理課	省エネ省資源WG	C
			12.照明設備を人感センサー制御に切り替える。	施設管理課	省エネ省資源WG	C
			13.照明設備のLED化を推進する。	施設管理課	省エネ省資源WG	C
			14.太陽光発電システムの増設を推進する。	施設管理課	省エネ省資源WG	C
		15.サーキュレータを設置し、冷暖房効率の向上を推進する。	施設管理課	省エネ省資源WG	C	
			1.部局別の月次水道使用量を監視し、漏水の早期発見に努める。	財務管理課	省エネ省資源WG	A

水資源の使用	水道使用量の削減を推進する	水道使用量を前年度比1%削減する。	2. 学内巡視による節電・節水の呼びかけを行う。	全ユニット	省エネ省資源WG	A
			3. 節水型水道設備の設置を推進する。	施設管理課	省エネ省資源WG	C
用紙類の使用	用紙類の使用量を削減する。	用紙類使用量を前年度比1%削減する。	1. 両面印刷を原則として取り組む。	全ユニット	EMS推進室	A
化学物質等の使用 特定化学物質 毒物劇物 有機溶剤 農薬管理 放射性物質 一般薬品 高圧ガス	化学物質等の適正な管理を行う。	化学物質等の全学一元管理を推進する。 実験廃液の定期的な回収と処分を行う。	1. 化学薬品の一元管理を徹底する。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
			2. 高圧ガスの一元管理を行う。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
			3. 実験廃液に加えて、廃試薬類の定期回収を実施する。	安全衛生管理室	EMS推進室	A
廃棄物等の排出 特別管理産業廃棄物 廃試薬・廃液 産業廃棄物 建設廃材	排水の適正な管理を促進する。	排水の管理を徹底する。	1. 排水の管理を徹底する。	施設管理課・安全衛生管理室	EMS推進室	A
			2. 排水の定期的な水質調査を実施する。	施設管理課・安全衛生管理室	EMS推進室	A
			3. 食堂排水のグリストラップ清掃を強化する。	岩手大学生協	EMS推進室	A
	3Rの促進を図る。	廃棄物の発生を抑制し、リユース・リサイクルを促進する。	4. 盛岡市ゴミ分別方法の変更に合わせて構内の分別方法を変更する。	全ユニット	EMS推進室	A
			5. 不要什器類の情報提供を行い再利用を促進する。	全ユニット	EMS推進室	A
			6. 備品や文房具の共有化を図る。	全ユニット	EMS推進室	A
			7. 不要図書を必要とされる諸機関に譲渡する。	情報メディア課	EMS推進室	A
グリーン購入	岩手大学グリーン調達方針に基づく調達を行う。	環境配慮型製品を優先的に購入する。	1. 岩手大学における「環境物品等の調達の推進を図るための方針」を職員に周知徹底する。	全ユニット	EMS推進室	A
			2. エコマーク・グリーンマーク商品を優先的に購入する。	全ユニット	EMS推進室	A
			3. 再生紙の利用を促進するとともにFSC森林認証紙も可能な限り使用する。	全ユニット	EMS推進室	A
			4. 環境配慮型製品を優先的に購入する。	全ユニット	EMS推進室	A
環境教育 環境人材教育	大学における環境教育を推進する。	環境教育・研修の推進を図る。	1. 環境に関する図書の充実を図る。	情報メディア課	EMS推進室	A
地域社会に対する取組	環境関連の取組を地域社会に情報発信するとともに、地域の環境活動に協力する。	地域の環境活動に協働して取組む。	1. 環境に関する外部委員会等への積極的な参加・協力を行う。	研究交流部・学部・研究科ユニット、地域連携研究センター	EMS推進室	A